

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年		2年	
教科等名		保健体育		グループ名		1グループ	
ねらい		・走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動技能を身に付けるとともに、健康・安全について理解を深める。 ・ルールやきまりを理解するとともに、課題に対して仲間と思考し判断する力を身に付ける。 ・運動や健康、安全について考え、明るく豊かな生活を営む態度を養う。					
担当教員		○萩野 美咲 渡辺 拓都 五十嵐 亮 高垣 淑 木村 克久 手塚 秀紀 寺田 直子 池原 萌					
予定授業時数		普通学級:66、重度・重複学級:99					
使用教科書							
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
4 5 6	・体づくり運動	○	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・体力測定	・体を動かす楽しさを感じたり、動きを持続したりすることができる。	・教員による模範、映像資料などを活用し、視覚的に分かりやすくする。		
6 7 9	・水泳		・水難訓練 ・水中運動 ・泳法	・初歩的な泳ぎ、泳法の基礎となる動きを身に付けることができる。 ・安全な活動方法や危険時の対処方法を理解して活動できる。	・緊急時に対応できるように、水難訓練を行う。 ・課題に応じたグループを編成する。		
9 10 11 12	・球技		・ゴール型 ・ベースボール型 ・ニュースポーツ	・基本的なボール操作や動きを身に付け、簡易的なゲームができる。 ・きまりを守り、仲間と協力したり、場の安全を考えたりして、進んで取り組むことができる。	・ルールを簡易化する。 ・ICT機器のカメラ機能や映像教材を活用する。		
	・器械運動		・柔軟運動 ・バランス運動 ・マット運動	・身体の柔軟性、バランス感覚、体幹保持力を高め習得した技を発表することができる。	・教員が模範や補助を行ったりする。		
1 2 3	・武道		・各種武道 ・礼儀作法、基本の動作、型	・礼儀作法の特徴を理解し、基礎的な動作を身付けることができる。	・扱いやすいように、模擬竹刀を使用する。		
	・ダンス	○	・現代的なダンス ・民舞	・リズムを感じたり、リズムに合わせて踊ることができる。 ・自分たちでダンスを選択・練習し、発表することができる。	・ポイントを分かりやすく伝えるため動画などを使用する。		
	・心身の健康	○	・健康で安全な生活 ・がん教育	・健康について知識を身に付け、考えることができる。 ・がんへの正しい知識を身に付けることができる。	・視覚支援教材として、イラストやICT機器を活用する。		
	・体育理論	○	・いろいろなスポーツ ・オリンピック・パラリンピック	・競技名や競技の特徴に関する知識を身に付けることができる。 ・スポーツライフについて、主体的に考える態度を養うことができる。	・視覚支援教材として、イラストやICT機器を活用する。		

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	2年	
教科等名	保健体育		グループ名	2グループ	
ねらい	・走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動技能を身に付けるとともに、健康・安全について理解を深める。 ・ルールやきまりを理解するとともに、課題に対して仲間と思考し判断する力を身に付ける。 ・運動や健康、安全について考え、明るく豊かな生活を営む態度を養う。				
担当教員	○渡辺 拓都 萩野 美咲 五十嵐 亮 高垣 淑 木村 克久 手塚 秀紀 寺田 直子 池原 萌				
予定授業時数	普通学級:66、重度・重複学級:99				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6	・体づくり運動	○	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・体力測定	・体を動かす楽しさを感じたり、動きを継続したりすることができる。 ・動きの基礎を身に付け、自己の体力の向上を図ることができる。	・教員による模範、映像資料などを活用し、視覚的に分かりやすくする。
6 7 9	・水泳		・水難訓練 ・水中運動 ・泳法	・水中で効率よく運動すること、基礎的な泳法を身に付けることができる。 ・安全な活動方法や危険時の対処方法を理解して活動できる。	・緊急時に対応できるように、水難訓練を行う。 ・課題に応じたグループを編成する。
9 10 11 12	・球技	○	・ゴール型 ・ベースボール型 ・ニュースポーツ	・基本的なボール操作や動きを身に付け、簡易的なゲームができる。 ・きまりを守り、仲間と協力したり、場の安全を考えたりして、進んで取り組むことができる。	・ルールを簡易化する。 ・ICT機器のカメラ機能や映像教材を活用する。
	・器械運動		・柔軟運動 ・バランス運動 ・マット運動	・身体の柔軟性、バランス感覚、体幹保持力を高め習得した技を発表することができる。 ・自分の体の動きについて理解することができる。	・教員が模範や補助を行ったりする。
	・武道		・各種武道 ・礼儀作法、基本の動作、型	・礼儀作法の特徴を理解し、基礎的な動作を身付けることができる。 ・場や用具の安全に留意して運動することができる。	・扱いやすいように、模擬竹刀を使用する。
1 2 3	・ダンス	○	・現代的なダンス ・民舞	・リズムを感じたり、リズムに合わせて踊ることができる。 ・自分たちでダンスを選択・練習し、発表することができる。	・ポイントを分かりやすく伝えるため動画などを使用する。
	・心身の健康	○	・健康で安全な生活 ・がん教育	・健康について知識を身に付け、考えることができる。 ・がんへの正しい知識を身に付けることができる。	・視覚支援教材として、イラストやICT機器を用活用する。
	・体育理論	○	・いろいろなスポーツ ・オリンピック・パラリンピック	・競技名や競技の特徴に関する知識を身に付けることができる。 ・スポーツライフについて、主体的に考える態度を養うことができる。	・視覚支援教材として、イラストやICT機器を用活用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。